

本日のプログラム

13 : 30 開会のあいさつ（5分）

13 : 35 情報提供（15分）

- ①【報告】真駒内中学校及び真駒内桜山小学校の一体整備について
- ② 今回の地域協議会の位置づけについて
- ③ 第2回地域協議会・検討委員会の振り返り
- ④ 再編コンセプトの整理について

13 : 50 意見交換（60分）

駅前地区がどのような使われ方をするかを想像し、
効果を高める機能の関係性を考える

14 : 50 発表（5分）

14 : 55 閉会のあいさつ（5分）

15 : 00 閉会

真駒内駅前地区のまちづくり

第3回 真駒内駅前地区 まちづくり地域協議会

令和2年10月9日（金）
札幌市まちづくり政策局
都市計画部

① 真駒内中学校及び真駒内桜山小学校 の一体整備について

①【報告】 真駒内中学校及び真駒内桜山小の一体整備について⁴

(1) 小中一体整備の方針

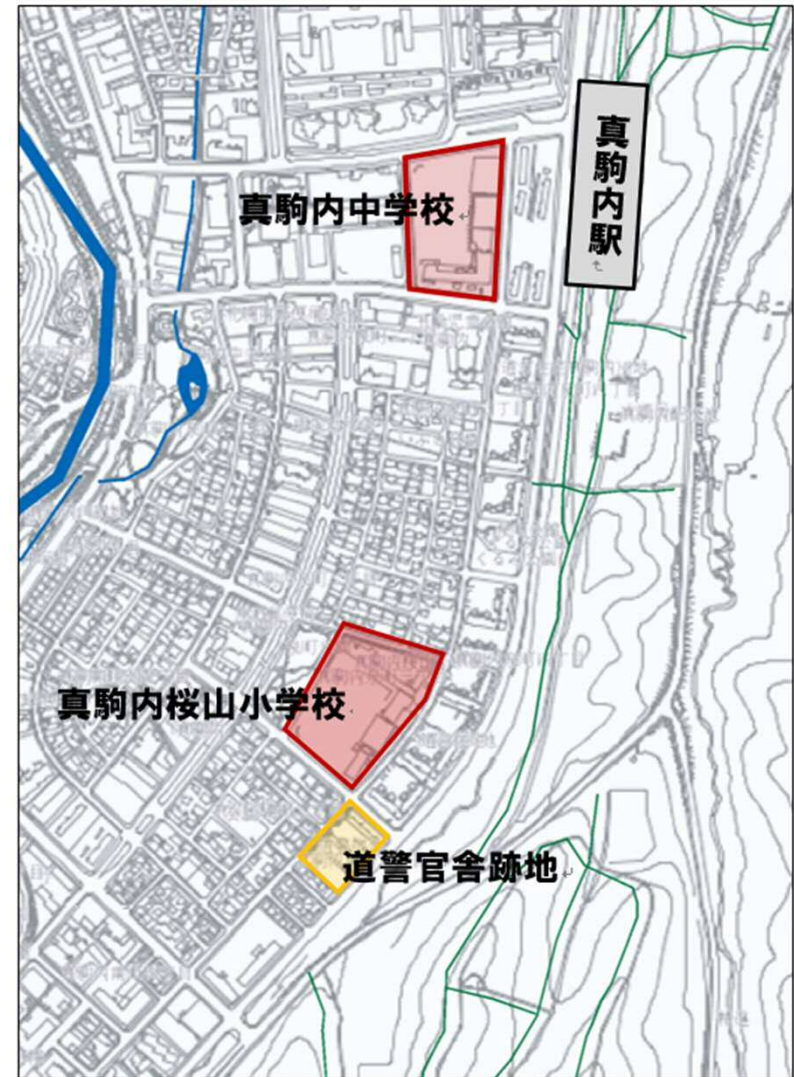
- 真駒内駅前地区において改築を予定していた真駒内中学校について、真駒内桜山小学校の敷地に移転し、真駒内中学校と真駒内桜山小学校の校舎等を一体的に整備。
- 令和8年度の開校を目指す。
- 真駒内桜山小学校に近接した道警官舎跡地を取得して、第2グラウンドを確保。



①【報告】真駒内中学校及び真駒内桜山小の一体整備について⁵

(2) 小中一体整備の理由

- 真駒内中学校及び真駒内桜山小学校は、両校とも建築後50年以上が経過しており、改築が同時期である。
- 真駒内中学校と真駒内桜山小学校は、校区がほぼ一致しており、中学校は移転することで校区の中心に近くなる。
- 中学校と小学校を一体的に整備することにより、児童生徒が互いの施設を利用することが可能となり、より良い教育環境が確保される。



①【報告】真駒内中学校及び真駒内桜山小の一体整備について⁶

(3) 駅前地区の土地利用の観点

小中一体整備に伴い、まちづくり指針で想定していた前提が変更

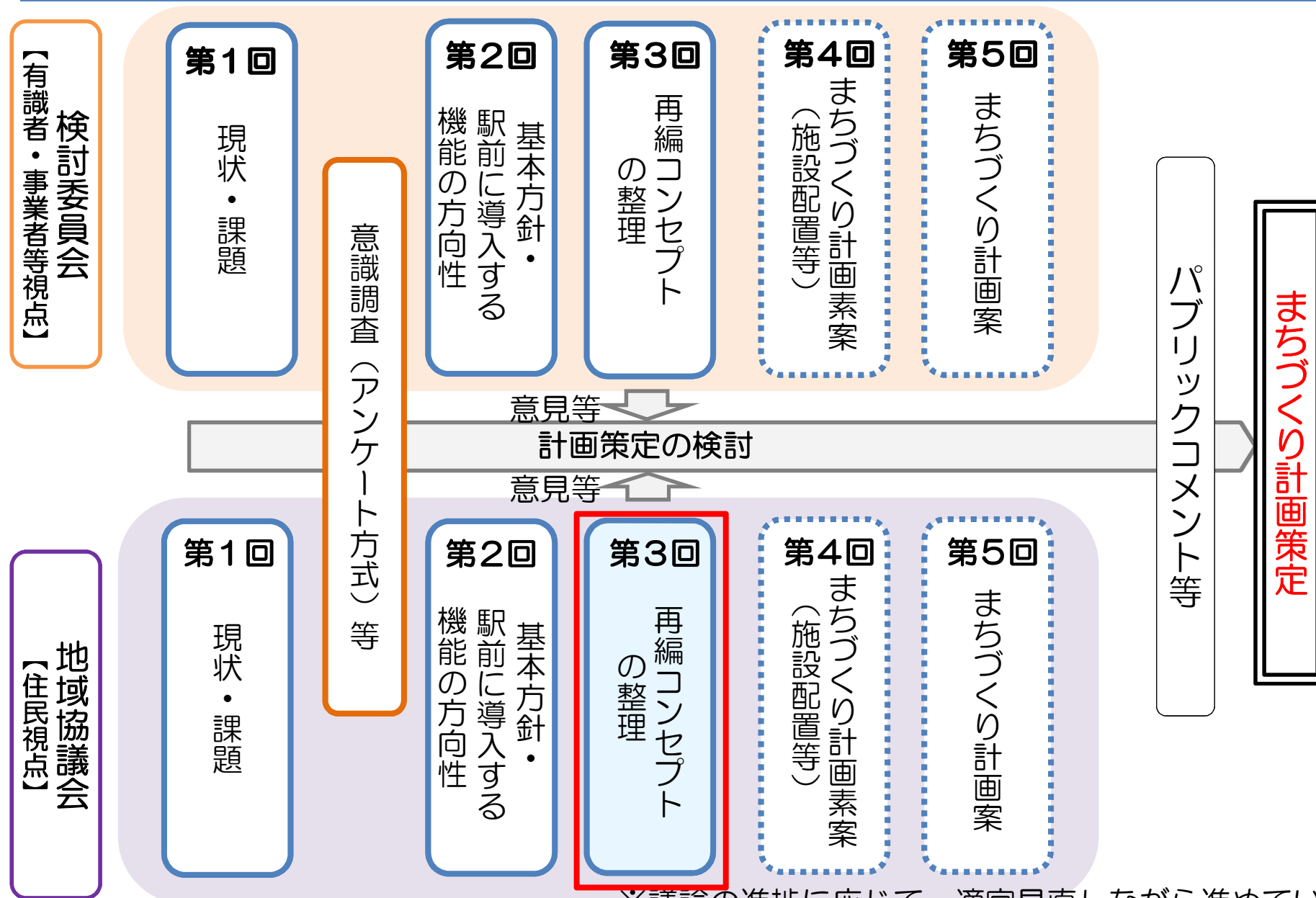


- ・「公共・民活エリア」にとられず、「中学校エリア」も含めた一体エリアを対象として、導入機能の種類・配置の検討が可能になるなど、土地利用の自由度が高まる。
- ・教育委員会による小中学校一体整備の検討と並行して、「中学校エリア」の新たな土地利用の方向性を検討。

② 今回の地域協議会の位置づけ

②今回の地域協議会の位置づけ

8



②今回の地域協議会の位置づけ

9

【有識者・事業者等視点】
検討委員会

第3回

再編コンセプトの整理について(2020.3)

新型コロナウイルスの影響により書面会議

意見等



計画策定の検討（札幌市）

再編コンセプト

（各機能の関係性を整理し、重点、役割、効果を明確化）

意見等



第3回 再編コンセプトの整理について

議題：駅前地区に求められる具体的な機能を
高める位置関係について

第4回

まちづくり計画素案（施設配置等）

【住民視点】
地域協議会

③ 第2回地域協議会・検討委員会の振り返り

③第2回地域協議会・検討委員会の振り返り

11

第1回

真駒内駅前地区まちづくり指針（H25）

上位計画 社会情勢の変化 現状・課題

第2回

住民視点

第1回地域協議会

事業者視点

事業者ヒアリング

住民視点

意識調査
（アンケート方式）

まちづくり計画基本方針

駅前地区で導入する機能の方向性

住民視点

第2回地域協議会

有識者・事業者
視点

第2回検討委員会

再編コンセプト

（各機能の関係性を整理し、重点、役割、効果を明確化）

施設配置計画

③第2回地域協議会・検討委員会の振り返り

12

駅前地区で導入する機能の方向性（案）

基本方針1：“地域独自の魅力を活かした特徴あるまち”の拠点

- (1) 豊かなみどりを感じる街並みの形成
- (2) 駅前にふさわしい公共空間の充実
- (3) スマートコミュニティのモデル地区を形成

基本方針2：“あらゆる世代が豊かに暮らせる持続可能なまち”の拠点

- (1) 子育てしやすい環境の実現
- (2) 民間活力の導入
- (3) 駅前にふさわしい公共空間の充実（再掲）

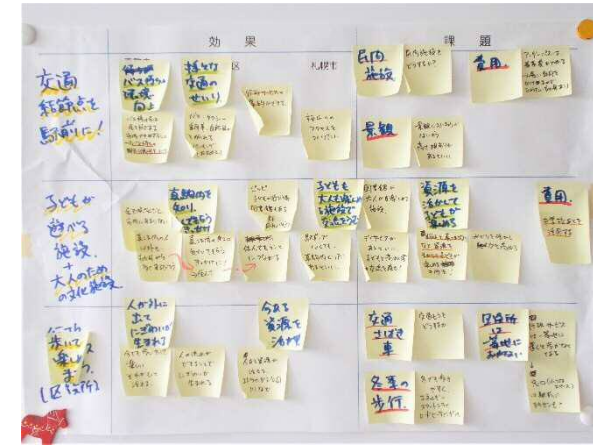
基本方針3：“歩いて暮らせるまち”の拠点

- (1) 行政・公共サービス機能を駅に近づけて配置
- (2) 民間活力の導入（再掲）
- (3) 歩行者ネットワークの創出
- (4) 交通結節機能の再編

③第2回地域協議会・検討委員会の振り返り

13

第2回地域協議会 実施結果



(1) 実施概要

開催日時：令和元年8月23日（金）18：30～21：00

開催場所：まこまる（旧真駒内緑小学校）2階まちの講堂

参加者：14名

(2) 議題

「真駒内駅前地区に導入する具体的な機能の効果と実現の課題」
について、ワークショップ形式により参加者同士で議論

③第2回地域協議会・検討委員会の振り返り

第2回地域協議会 主な意見と方向性の整理

① 生活利便機能

- 効果**
- ・ バスを待つ人が滞留できるカフェなどがあると、若い人が集まり活気が生まれる。
 - ・ 経済が回る買い物の場があると、活気のあるまちになる。
- 課題**
- ・ 駅前施設の高さの検討にあたり、自然豊かな景観への配慮が必要。

- ・ 方向性2 (2)
方向性3 (2)
「民間活力の導入」
- ・ 方向性1 (1)
「豊かなみどりを感じる
街並みの形成」

② 歩いて楽しいまち

- 効果**
- ・ 歩いて楽しいまちという真駒内の特徴を活かす。
 - ・ 歩行者動線に配慮した整備をすることで、人の流れができ、にぎわいが生まれる。
- 課題**
- ・ 冬でも歩きやすい歩道を維持することが必要。
 - ・ 行政機能を駅前に設けると、周遊が減ることが懸念されるため、配慮が必要。

- ・ 方向性3 (3)
「歩行者ネットワークの
創出」

③ 交通結節点としての機能向上

- 効果**
- ・ バス待ち環境の改善。
 - ・ 地下鉄とバスターミナル、駐輪場が歩行空間でつながることで利用しやすくなる。
 - ・ 駅前に駐車スペースや駐輪場を整備することで、駅利用者が便利になる。
- 課題**
- ・ 駅前の民間施設との一体的な検討が必要。

- ・ 方向性3 (4)
「交通結節機能の再編」

③第2回地域協議会・検討委員会の振り返り

第2回地域協議会 主な意見と方向性の整理

④ 人が集まる場（広場）

- 効果 • 駅前に人が滞留できる広場空間や、雨天時にマルシェなどができる屋内型の広場があると、にぎわいが生まれる。
- 課題 • 持続的な運営を行うため、運営主体や資金調達の方法など運営の仕組みづくりが必要。

- 方向性1（2）
方向性2（3）
「駅前にふさわしい公共空間の充実」

⑤ 子どもの遊び場

- 効果 • 全天候型の遊び場があると、真駒内を知り訪れるきっかけになり、将来的な移住・定住につながる。
- 課題 • 多額の事業費がかかるため、コスト面での検討が必要。

- 方向性2（1）
「子育てしやすい環境の実現」

⑥ 南区の魅力発信の場

- 効果 • 南区各地で採れた野菜や果物を販売できる、南区の環境・文化・歴史資源の魅力を発信する場所があると良い。
• 真駒内で情報を得た人が、南区各地へ足を運ぶ人の流れができると良い。
- 課題 • 真駒内、南区など全体で連携する仕組みや体制づくりが必要。

- 方向性1（2）
方向性2（3）
「駅前にふさわしい公共空間の充実」

③第2回地域協議会・検討委員会の振り返り

第2回地域協議会 主な意見と方向性の整理

⑦ コミュニティ空間

- 効果**
- ・通学で駅を利用する学生が集える場所があると、地域コミュニティが活性化する。
 - ・多世代が集まれる施設があると、交流が活発になり、結果として町内会の若返りや活性化につながる。

- 課題**
- ・計画段階から使われ方を工夫するなど、施設の魅力を高めることが必要。

• 方向性1 (2)
方向性2 (3)
「駅前にふさわしい公共空間の充実」

⑧ 持続的なまちづくりを支える仕組み

- 効果**
- ・ニーズを把握し、魅力的に変化し続けることができるまちづくり組織があると良い。
 - ・駅前だけでにぎわいが生まれるのではなく、にぎわいが広がり、点在するようになると良い。

- 課題**
- ・まちづくりを担う人材育成、人材発掘が必要。

• 方向性1 (2)
方向性2 (3)
「駅前にふさわしい公共空間の充実」

大きな方向性は合致 個別の意見は今後も随時検討に反映

③第2回地域協議会・検討委員会の振り返り

17

第2回検討委員会 実施結果



(1) 実施概要

開催日時：令和元年7月25日（木）10：00～12：00

開催場所：北海道経済センター 8階Bホール（1号室）
（中央区北1条西2丁目）

参加者：11名

(2) 議題

- ① 基本方針・導入する機能の方向性について
- ② 駅前地区における交通結節機能について

③第2回地域協議会・検討委員会の振り返り

18

第2回検討委員会 実施結果

議題①「基本方針・導入する機能の方向性について」

- 南区に住む多くの人が、駅前に買い物機能を期待しており、駅直結の商業施設が望まれている。
- 高齢者や障がい者だけでなく、ベビーカーを使用している子育て世代にも配慮した、安全・安心な歩行環境を実現すべき。
- 駅前からまっすぐ伸びる駅前通と、その両側に立つ高木、駅の背後に広がる緑の景観は、真駒内の重要な資源なので大切にすべき。
- 効率よく時間を使えるように、生活の利便を支える施設が配置されているまちは、子育て世代も含めあらゆる世代にとって魅力的なまちになるのではないか。

③第2回地域協議会・検討委員会の振り返り

19

第2回検討委員会 実施結果

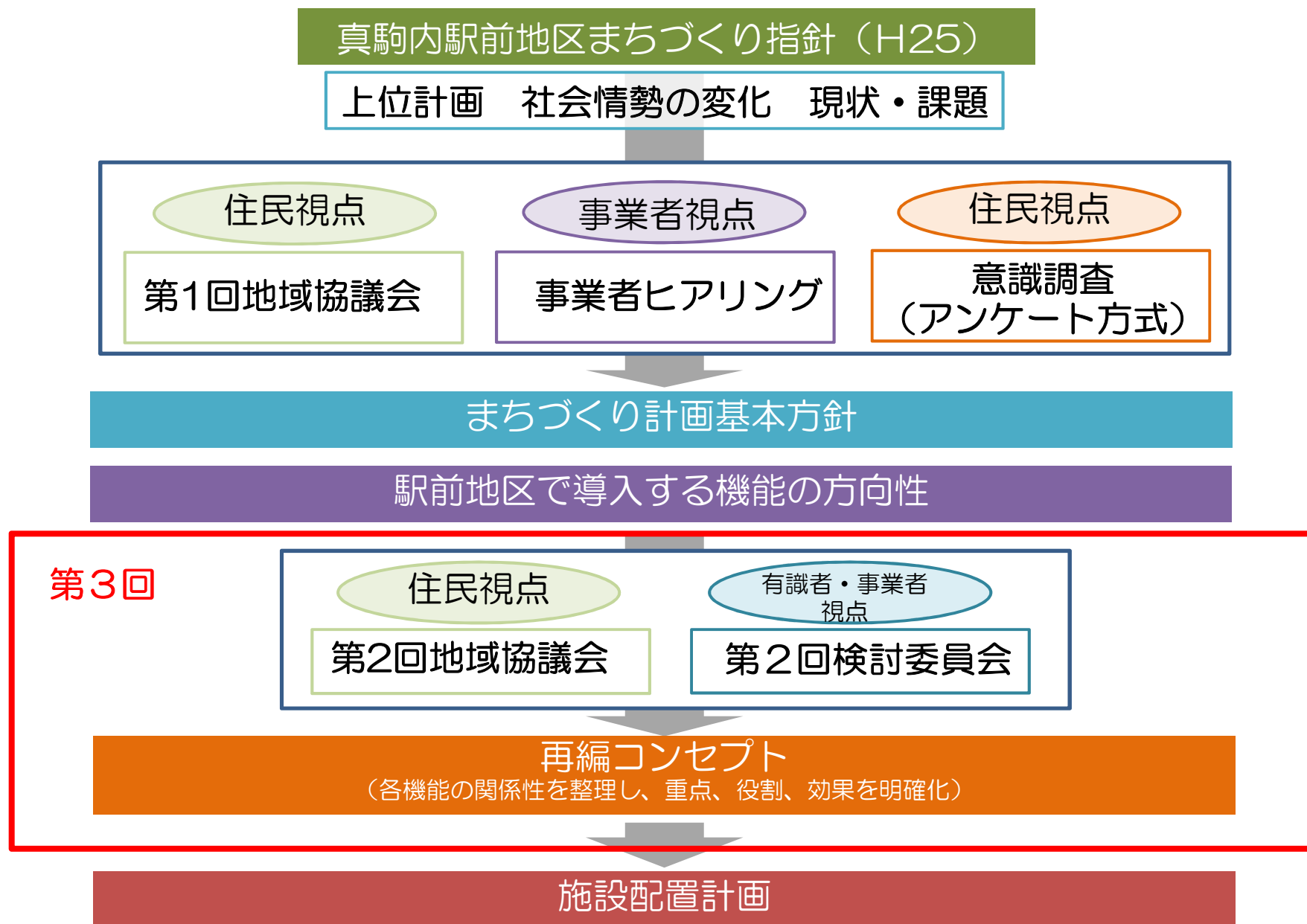
議題②「駅前地区における交通結節機能について」

- バス待ち環境やバスから地下鉄までの移動環境が非常に悪いため、改善が必要。
- 駅前タクシーの降車環境が整っておらず、高齢者や障がい者が特に不自由を感じているため、駅前にタクシーの降車場所を確保すべき。
- バスの発着情報をスマートフォンで検索できるシステムや、駅のデジタルサイネージ（電子看板）にバス情報を表示するなどにより、住んでいる方だけでなく、観光客など初めて利用する方にもわかりやすくなると良い。

④ 再編コンセプトの整理について

④再編コンセプトの整理について

21



④再編コンセプトの整理について

赤文字：各機能の相互間の関係性

青文字：駅と駅前地区の関係性

緑文字：駅前から周辺への波及関係

22

基本方針1「地域独自の魅力を活かした特徴あるまち」の拠点

機能の方向性	(1) 豊かなみどりを 感じる街並みの形成	(2) 駅前にふさわしい公共空間の充実	(3) スマートコミュニティのモデル地区の形成
第2回 検討委員会 意見	- 駅前通りの景観は唯一無二の資源 - 居住環境の質等の魅力を計画の中で評価し、維持していくと良い	地域の魅力は生活者の視点と利用者では別の視点だと思われる	バス運行情報のオープンソース化
第2回 地域協議会 意見	施設の高さの検討には、自然豊かな景観への配慮が必要	- 滞留できる広場や、雨天時にもにぎわいを生む屋内型の広場 - 南区の環境・文化・歴史資源の魅力を発信する場 - 真駒内で情報を得た人が南区各地へ足を運ぶ人の流れをつくる。 - 通学で駅を利用する学生が集える場所があると、コミュニティが活性化する。 - 多世代が集まれる施設があると、交流が活発になり、町内会活動の活性化にもつながる。	—

再編 コンセプト	●<u>みどりを</u>感じる街並みの形成 ●良好な住環境としての<u>魅力の周辺への波及</u>	●駅前にふさわしい<u>公共空間の充実</u> ●南区各地域の<u>魅力発信</u> ●南区の各地域へ向かう来街者の利便を支える玄関口	●<u>スマートコミュニティ</u>のモデル地区を形成
-------------	--	---	---

④再編コンセプトの整理について

赤文字：各機能の相互間の関係性
 青文字：駅と駅前地区の関係性
 緑文字：駅前から周辺への波及関係

23

基本方針2「人が新たに流入する持続可能なまち」の拠点

機能の 方向性	(1) <u>子育てしやすい環境を 実現</u>	(2) <u>民間活力の導入</u>	(3) 駅前にふさわしい <u>公共 空間の充実</u> （再掲）
第2回 検討委員会 意見	- ベビーカーを使う子育て世代にもやさしい歩行環境 - 将来的な人口の年齢構成も見据えた検討が必要	駅に直結した商業施設が南区民の願い	(再掲省略)
第2回 地域協議会 意見	全天候型の遊び場が将来的な移住・定住につながる	- 交通施設との一体的な検討が必要 - バスを待つ人が滞留できるカフェなどがあると若い人が集まり活気が生まれる。 - 買い物の場があると活気があるまちになる。	(再掲省略)

再編 コンセプト	子育て世代を中心に多様な世代に向けた住環境としての魅力創出	民間活力の導入	(再掲省略)
-------------	---	---	--------

④再編コンセプトの整理について

赤文字：各機能の相互間の関係性

青文字：駅と駅前地区の関係性

緑文字：駅前から周辺への波及関係

24

基本方針3「歩いて暮らせるまち」の拠点

機能の方向性	(1) 行政・公共サービス機能を駅に近づけて配置	(2) 民間活力の導入(再掲)	(3) 歩行者ネットワークの創出	(4) 交通結節機能の再編
第2回検討委員会意見	駅や商業施設に直結した公共施設があれば人は集まる。	(再掲省略)	- 公共交通を使えば自家用車がなくても暮らせるように - ベビーカーを使う子育て世代にもやさしい歩行環境(再掲) - 時間を有効に使える機能的かつ高効率なまち - 駅の構造も考慮し駅前を人優先した場所にしていこうとも考えると良い。	- 将来的な人口年齢構成も見据えた検討が必要(再掲) - 公共交通を使えば自家用車がなくても暮らせるように(再掲) - 駅前で、バス、タクシー、自家用車のアクセス性が向上すれば人の滞留につながる。
第2回地域協議会意見	行政機能を駅前に設けると、駅前以外の周遊が減ることが懸念されるため配慮が必要。	(再掲省略)	- 歩いて楽しいまちという特徴を活かす(再掲) - 歩行者動線に配慮し、賑わいを生み出す。 - 冬でも歩きやすい歩道を維持 - 行政機能を駅前に設けると、駅前以外の周遊が減ることが懸念されるため配慮が必要。(再掲) - 駅前だけでなく、にぎわいが広がり、点在すると良い。	- バスを待つ人が滞留できるカフェなどがあると若い人が集まり活気生まれる。(再掲) - バス待ち環境の改善 - 地下鉄とバス、駐輪場つなぐ歩行空間 - 駅前に停車スペースや駐輪場 - 民間施設との一体的な検討が必要 - 通学で駅を利用する学生が集える場所があると、コミュニティが活性化する。(再掲)

再編コンセプト	(総合的視点で検討)	(再掲省略)	●にぎわいの軸 ●快適で安心・安全な歩行者ネットワーク	●交通結節機能の再編 ●南区の各地域へ向かう来街者の利便を支える玄関口(再掲)
---------	------------	--------	--	--

④再編コンセプトの整理について

25

総合的な視点から導かれる再編コンセプト

【各機能相互間の関係性（赤文字）】

都市機能の集積による生活利便の向上

- ・「生活利便機能（民活）」「交通結節機能」「行政・公共サービス機能」
の相互間で人の流れを生み、にぎわいや交流を相互的に創出
- ・下支えする「快適で安心・安全な歩行者ネットワーク」

【駅前から周辺への波及（緑文字）】

にぎわいや交流を駅前地区だけでなく、周辺にも波及させていく

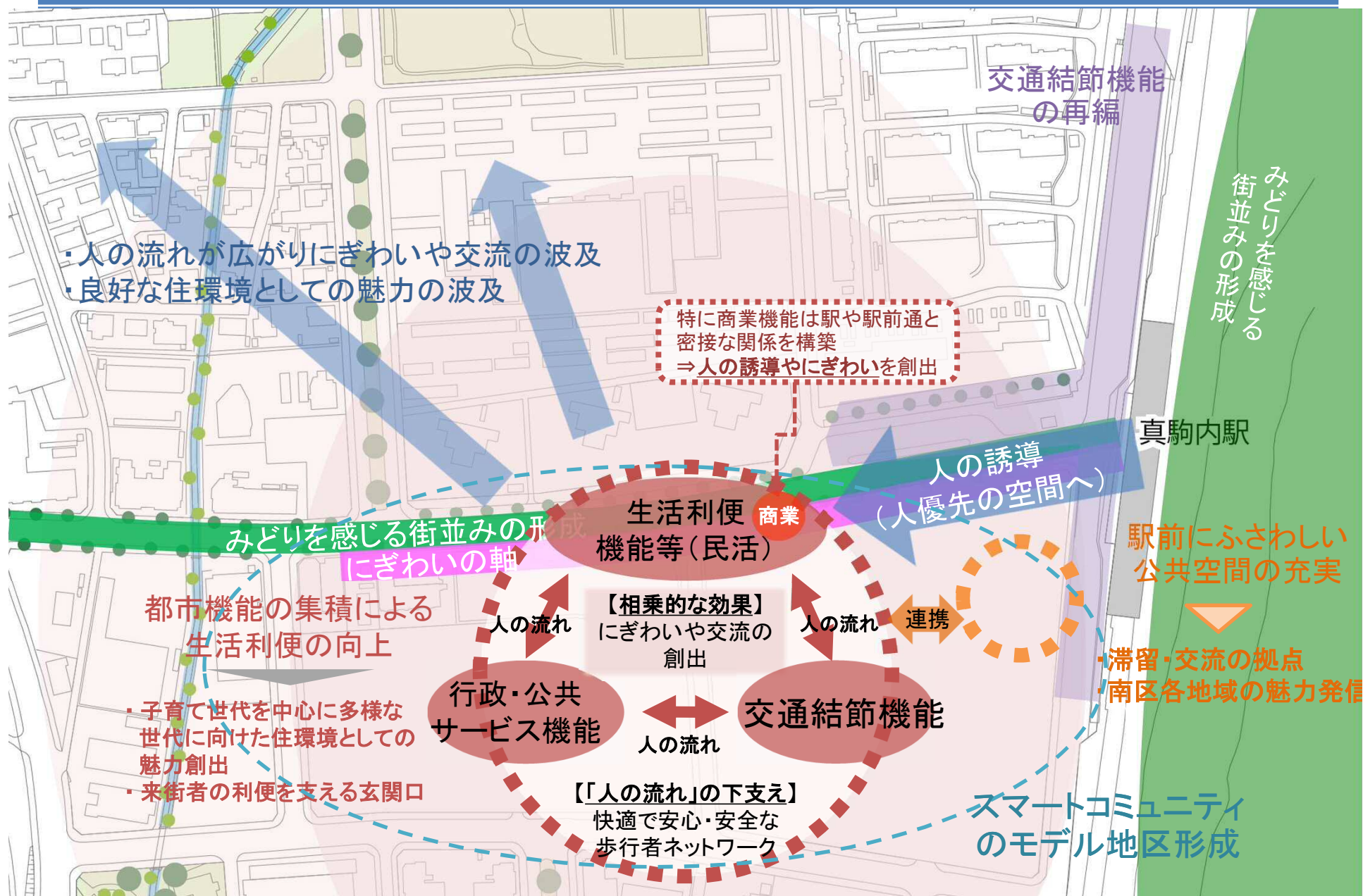
【駅と駅前地区の関係性（青文字）】

駅から人の誘導 ⇒ 駅前地区のにぎわい・交流 ⇒ 周辺への波及

- ・特に商業機能は、人の誘導やにぎわいの創出に資するように駅や駅前通と密接な関係を構築

④再編コンセプトの整理について

再編コンセプトのイメージ



④再編コンセプトの整理について

27

第3回検討委員会 実施結果

【実施概要】

実施期間：令和2年3月13日（金）～3月31日（火）

会議形式：書面会議（新型コロナウイルス感染拡大防止のため）

参加者：12名

《 主な意見のキーワード 》

- ・ 真駒内独自の魅力の打ち出し
- ・ バス運転手不足によるバス路線の集約
- ・ 南区の公共交通網と真駒内の位置づけ
- ・ あらゆる世代が暮らしやすいまち
- ・ 民間事業者の意欲向上と誘導
- ・ 商業機能と駅前のにぎわい
- ・ 民活機能と交通機能の連携
- ・ 駅と再編街区の直結化
- ・ 時代に追随できる可能性
- ・ みどりの取り込み

60分

意見交換のすすめ方

テーマ：

駅前地区がどのような使われ方をするかを想像し、効果を高める機能の関係性を考えてみよう！

- 訪れる「人」の視点から、駅前に求められる具体的な機能の関係性とその効果を考えましょう。

60分

■意見交換：駅前地区がどのような使われ方をするかを想像し、効果を高める機能の関係性を考えましょう

- ・ 駅前に求められる機能について、第2回地域協議会で出された意見を振り返ろう。

【広場機能】

- ・ お祭りやマルシェ等の賑わいを生むイベントができる場所
- ・ 雨天も使えるシェルター機能
- ・ 車と動線が交わらない人のための広場機能
- ・ ベンチなどの休憩機能 など

【生活利便機能】

- ・ 学生が立ち寄り勉強・滞在ができる図書館のような機能
- ・ 地下鉄やバスを待つ時間に立ち寄れる機能
- ・ 多世代がふらりと立ち寄れる飲食店等の滞留・交流機能
- ・ 若者のためのチャレンジショップ など

【行政・公共サービス機能】

- ・ 区役所等は駅から少し離れたところに設置し回遊性を高める
- ・ 住民票取得等の利用者が多い機能は駅前に公共サービスのサテライトを設置する など

【交通結節機能】

- ・ バスと地下鉄のアクセスの改善
- ・ 迎いの車用の駐車場や駐輪場の設置
- ・ お年寄りも使いやすい滞留機能が一体となった交通広場 など

【子育て機能】

- ・ 小学生以下の子どもが遊ぶことのできる場所や施設
- ・ 地域に開かれた子どもの遊戯施設で多世代交流
- ・ 子育て世代を引き付ける教育サービスの充実 など

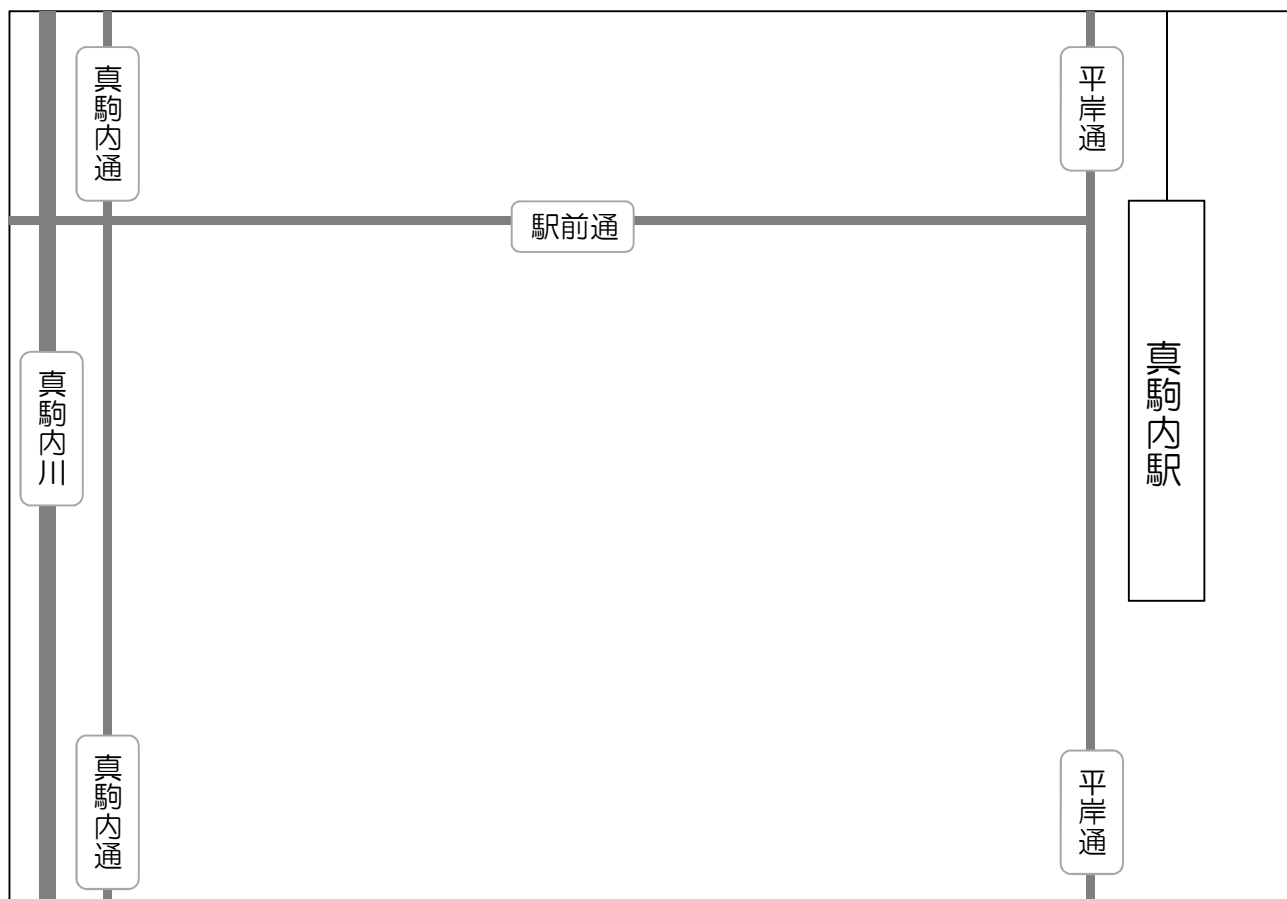
【その他】

- ・ 緑や川等の自然や憩いの機能
- ・ 駅前から真駒内地域へ人が歩き回遊する機能
- ・ 真駒内や南区の魅力を伝える情報発信機能
- ・ 駅前のまちづくりを推進する組織の設置 など

60分

■意見交換：駅前地区がどのような使われ方をするかを想像し、
効果を高める機能の関係性を考えましょう

- ・ 今までに出された機能について、訪れる「人」の視点から、駅前がどのような使われ方をするかを想像し、どのような機能の関係性で効果が最大限発揮されるか、考えましょう。
- ・ 相互の関係性において、どのような効果や課題があるかも考えましょう。



■訪れる「人」の視点

(1)学生

- ・ 真駒内地域
- ・ 真駒内地域以外

(2)子育て世代、働く世代

- ・ 真駒内地域
- ・ 真駒内地域以外

(3)高齢者

- ・ 真駒内地域
- ・ 真駒内地域以外

(4)来街者、観光客

60分

■意見交換：駅前地区がどのような使われ方をするかを想像し、
効果を高める機能の関係性を考えましょう

- 今までに出された機能について、訪れる「人」の視点から、駅前がどのような使われ方をするかを想像し、どのような機能の関係性で効果が最大限発揮されるか、考えましょう。
- 相互の関係において、どのような効果や課題があるかも考えましょう。

